

Nomura Investment Forum 2018

富士フイルムは次のステージへ。NEVER STOP

「中期経営計画（～2019）」と「それ以降の取り組み」

富士フイルムホールディングス株式会社

2018年12月6日

代表取締役会長・CEO

古森重隆

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

企業価値向上に向けた長期的な取り組み



事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、企業価値向上を図る

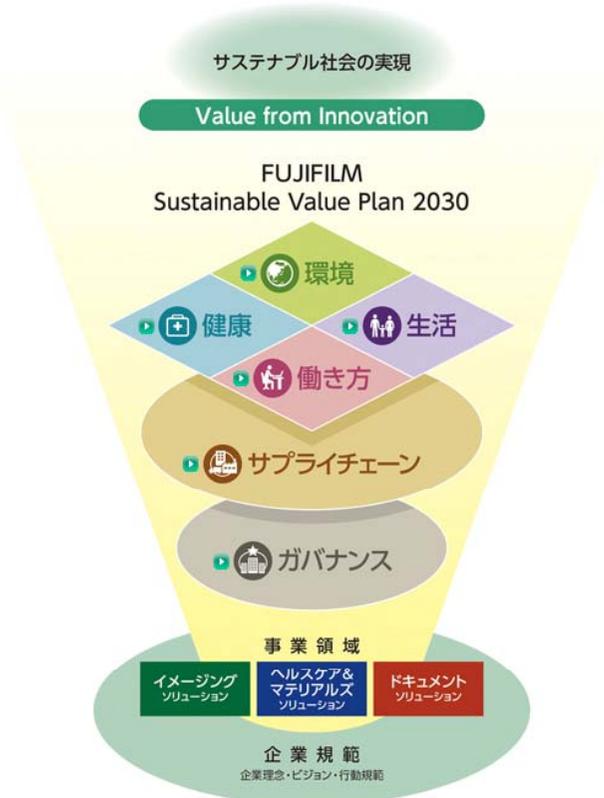
SVP2030

2030年度をターゲットとしたCSR計画。革新的技術・製品・サービスの提供などを通して、世界規模での社会課題解決に取り組み企業価値向上を図る。

SVP2030で設定した重点分野

「環境」「健康」「生活」「働き方」
「サプライチェーン」「ガバナンス」

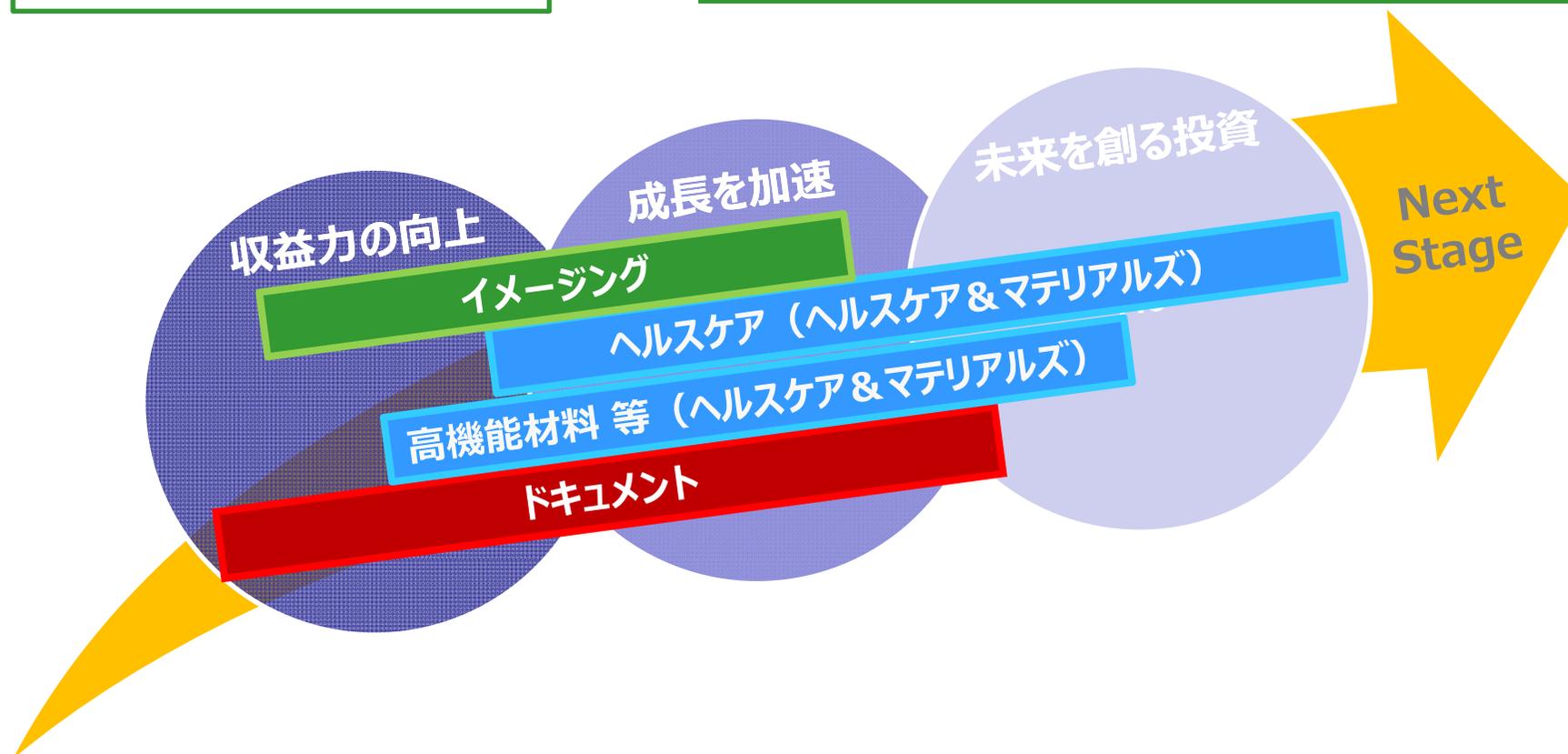
具現化するための中期経営計画
「VISION2019」
(2018年3月期～2020年3月期)



「VISION2019」の考え方

事業ポートフォリオ強化

キャッシュ創出・成長投資



株主還元強化

ROEの向上

M&A投資

戦略的飛躍

「VISION2019」の進捗

(単位：億円)

	2017年度	2018年度 (予想)	2019年度 (目標)	対2018年度 (予想)
売上高	24,334 100.0%	24,700 100.0%	26,000 100.0%	+1,300 +5.3%
営業利益	1,233	2,000	過去 最高 2,300	+300
営業利益率	5.1%	8.1%	8.8%	+15.0%
当社株主帰属 当期純利益	1,407 5.8%	1,300 5.3%	過去 最高 1,500 5.8%	+200 +15.4%
ROE	6.8%	6.2%	7.3%	+1.1%
為替：米ドル	111円	110円	110円	-
：ユーロ	130円	130円	120円	10円高
銀価格(/kg)	61,000円	59,000円	62,000円	+3,000円

2020年度

ROE 8.0%
達成

- ✓ オーガニックな成長による最高益達成
- ✓ 株主還元強化

ROE 7.3%
達成



戦略的M&Aによる
売上・利益上乘せ

株主還元施策・M&A投資ともに 「VISION2019」の計画通りに進捗

株主還元施策

(自社株買い+配当)

総額 3,000億円

自社株買い：合計2,000億円

2017年度500億円実施済み

2018年度1,000億円実施中

配当：合計1,000億円

2017年度 75円

2018年度 80円 (予想)

M&A投資

総額 5,000億円

さらなる売上・利益成長を加速させるための投資

和光純薬工業 (2017.4)

Irvine Scientific、アイエスジャパン (2018.6)

今後の展開

さらなる成長に向けた挑戦



21世紀を通じて成長し続けるために
「自ら変化を作り出す企業」へ
絶えず新しい製品や価値を生み出し続ける
開発力と企業文化をもった企業

自ら変化を作り出す
ナンバーワン、オンリーワンの
技術で新しい価値を創造し
マーケットをリード

変化を予測し

先手を打つ

各事業でマーケットの先を読み
M&Aや事業譲渡を実行

変化に対応

2000年代

カラーフィルム需要の急減に対応し

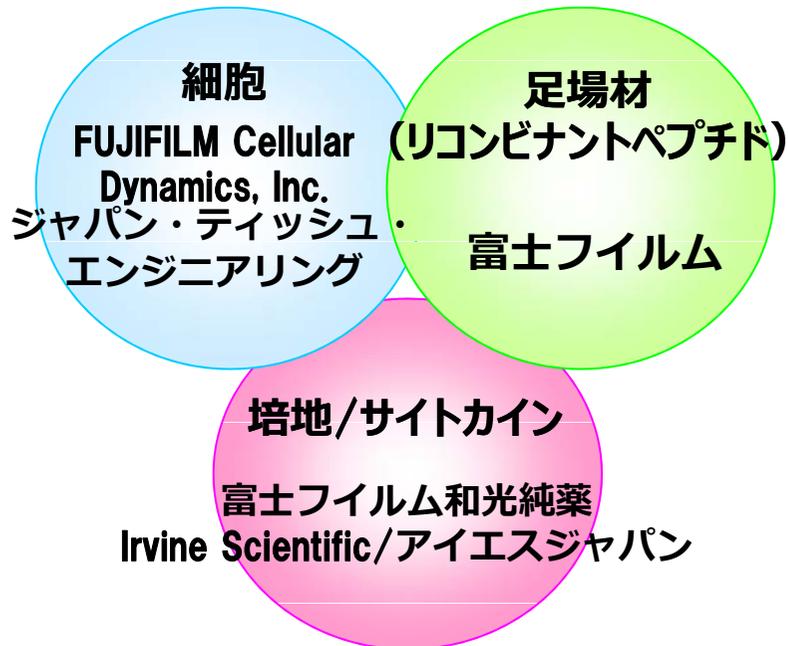
大きく事業構造を転換

健康



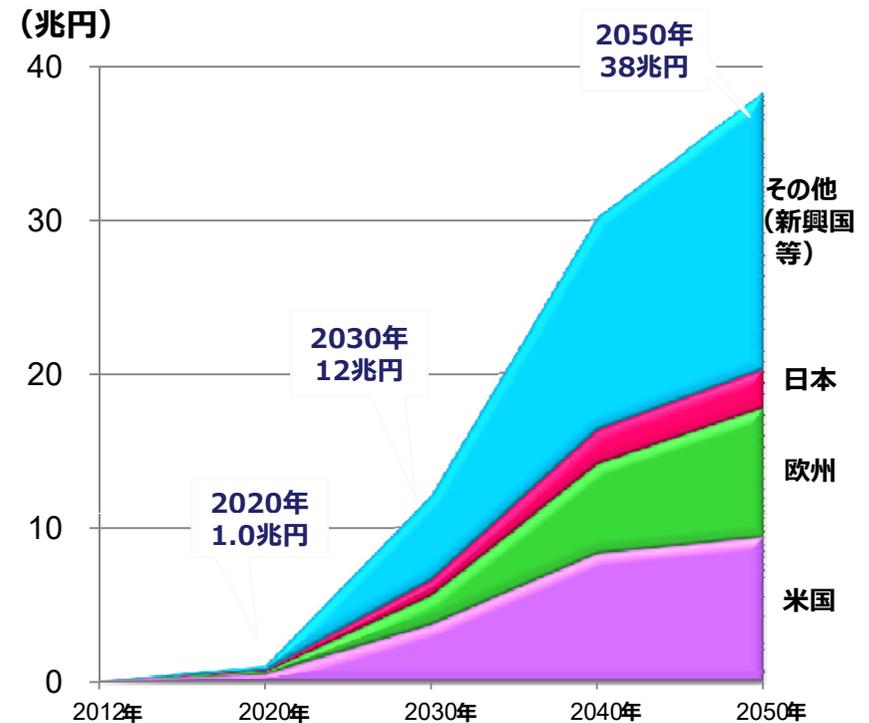
アンメットメディカルニーズへの対応

再生医療に必要な3大要素全てを
グループ内に保有



エンジニアリング技術

急速な市場拡大を予想



再生医療の将来市場規模予測 (世界)
(平成25年2月経産省を転載)

再生医療 ┌ 創薬支援（医薬品の開発期間・コストの削減）
└ 細胞治療（有効な治療法が無かった疾患の治療）

<創薬支援> iPS細胞の産業化をリード

FUJIFILM Cellular Dynamics, Inc.にて、製薬各社の医薬品開発用途としてiPS細胞由来分化細胞を開発、製造、販売。

<細胞治療>

外部との提携等により、リスクを低減・分散させながら
機動性高く事業を推進

豪の再生医療ベンチャーCynata社と2017年1月に戦略的提携契約を締結。
Cynata社は他家iPS細胞から作成した「間葉系幹細胞」を使い、骨髄や臓器
移植の際に起きる重篤な合併症「急性移植片対宿主病」の治療について、世界
初の臨床試験を2017年5月より開始。

当社はCynata社のパイプライン導入に関して、
優先交渉権を持つ。



FUJIFILM

Value from Innovation

富士フイルムは、生み出しつづけます。

人々の心が躍る革新的な「技術」「製品」「サービス」を。

明日のビジネスや生活の可能性を拡げるチカラになるために。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 コーポレートコミュニケーション室

<http://www.fujifilmholdings.com>